

坂井市では初の選定

芝政ワールドが「恋人の聖地」に認定されました

「恋人の聖地 芝政ワールド/三国・あわら」

芝政観光開発株式会社（所在地：福井県坂井市三国町）が運営する日本海側最大級のテーマパーク「芝政ワールド」が、このたびNPO法人地域活性化支援センターが展開している“恋人の聖地プロジェクト”において、「恋人の聖地 芝政ワールド/三国・あわら」として恋人の聖地に選定されました。

福井県の恋人の聖地としては「レインボーライン山頂公園」（三方上中郡若狭町）、「北陸自動車道/杉津パーキングエリア」（敦賀市杉津）に続いてか3所目。坂井市内では初めての選定となります。



当施設・芝政ワールドの自慢は、日本海を間近に望む眺望と、芝生のプロが丹精込めて手入れする広大な芝生の広場です。芝生が最も美しくなる初夏には、日本海を望む芝生広場に若々しい緑色の絨毯^{じゅうたん}が空の向こうまで続く景色を楽しむことができます。また夕方にも、芝生に座って沈む夕日をゆったりと眺めるカップルや夕焼け空を背に写真撮影を楽しむファミリーなど、大勢のお客様が思い思いに感動のひとときを過ごされています。

芝政ワールドでは56万㎡（東京ドーム約12個分）の広大かつ風光明媚な敷地で、年間を通してパットゴルフやバイキングなどの数々のアトラクションをはじめ、自然を活かした様々なイベントを楽しむことができます。特に、夏にオープンする国内最大級のスケールを誇るレジャープールや2016年より冬に開催している北陸最大級の屋内イルミネーションは、福井県内からはもちろんのこと、県外からも多くの若者から季節のデートスポットとして強く支持されています。

この度の「恋人の聖地」への選定が、より多くの皆様に芝政ワールドはもちろん、坂井市、福井県へとお越しいただく機会になればと期待しております。また、お越しいただいた皆様に福井県の魅力を存分にお伝えしていくことで、福井県への観光客誘致や地域経済の活性化、少子化・人口減少問題への取り組みに寄与できればと考えております。

今後は、園内へのモニュメントの設置やイベントの開催など、様々な企画を行っていく予定です。



モニュメント完成イメージ

●『恋人の聖地プロジェクト』について

NPO 法人地域活性化支援センターでは「少子化対策と地域の活性化への貢献」をテーマとした『観光地域の広域連携』による『恋人の聖地プロジェクト』の展開をはかっています。

地域活性化においては、「恋愛」「プロポーズ」「結婚」をテーマとして、若い人々を中心に日本全国の素晴らしいスポットを紹介し、訪ねていただくための『新たな旅の動機作りを図り、各地域の観光誘客に貢献する』とともに、受け皿となる観光地域には、若い人々を迎え入れるための様々なプラン作り等を通して、各地域における若者達の活躍の舞台の提供に取り組んでいます。また、少子化対策においては、少子化の大きな要因のひとつとなっている「非婚化」「晩婚化」に対するアプローチを目的として、若い人々ならびに取り巻く社会に、結婚の素晴らしさ、家庭を築くこと、ひととの繋がりを感じていただくための幅広い啓発活動に取り組んでいます。

●『恋人の聖地』について

「恋人の聖地プロジェクト」では、地域活性化と少子化対策への貢献を図るため、全国の観光地域・観光スポットの中から「プロポーズにふさわしいロマンチックなスポット」を『恋人の聖地』として選定しています。各地の恋人の聖地は自治体等公的団体が中心となり、既存の観光スポットの活性化とともに地域の発展を目指して活動しています。また少子化問題に関する啓発を目的として、「恋愛」「恋人」「プロポーズ」「結婚」等々、非婚化・晩婚化に対する重要なキーワードの社会へ発信に努めています。

●恋人の聖地プロジェクト運営団体『NPO 法人地域活性化支援センター』について

NPO 法人地域活性化支援センター（静岡市・理事長 志垣恭平）は 2006 年に設立され、「少子化対策と地域の活性化への貢献」を事業活動のテーマとして、全国の自治体、企業、団体との広域連携による『恋人の聖地プロジェクト』をはじめ様々な社会貢献プロジェクトを展開しています。当法人の理事は、桂 由美（ファッションデザイナー）、假屋崎省吾（華道家）、溝畑 宏（大阪観光局理事長／元観光庁長官）、他が務め、親善大使として各界の著名人も数多く参画しています。

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

芝政ワールド 広報担当／船谷（ふなや）淳吾・水島 涼介

TEL 0776-81-2110 FAX 0776-81-2118 E-Mail info@shibamasa.com